

1. 調査目的等

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

2. 学校ごとの指標

全区分で-2ポイント以内

3. 指標にむけての取組

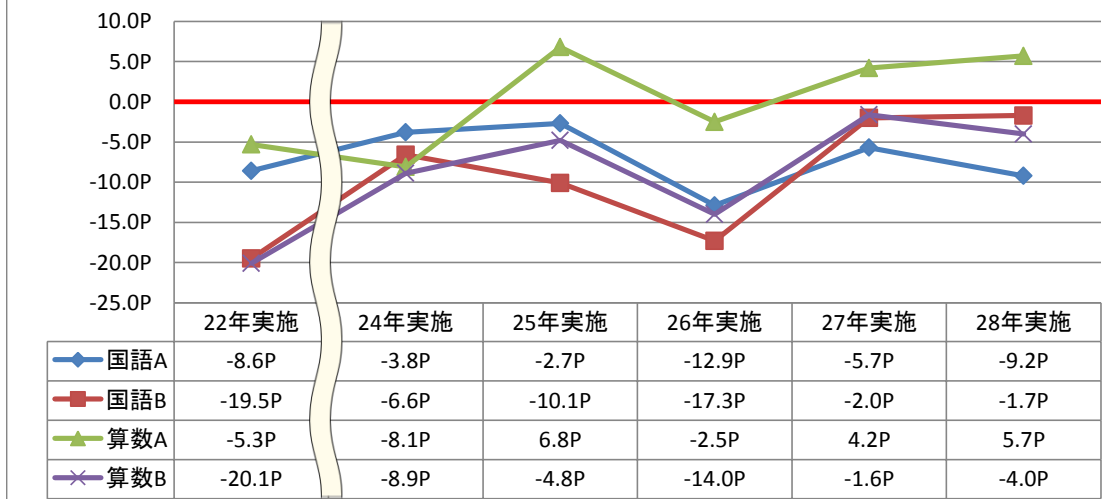
- 基礎基本の徹底(漢字検定・算数検定の実施・児童の実態に応じた宿題の工夫・週末課題の充実等)
- 「活用力」問題に慣れさせるための時間の確保
- 課題把握と早期改善
- 全職員での取組

4. 調査結果

本年度の結果 (平均正答率に対して)

教科名	国語A	国語B	算数A	算数B
本校(A)	63.7	56.1	83.3	43.2
嘉麻市(B)	65.3	51.6	72.8	41.9
(A) - (B)	-1.6	4.5	10.5	1.3
福岡県(C)	71.7	57.8	77.8	47.3
(A) - (C)	-8	-1.7	5.5	-4.1
全国(D)	72.9	57.8	77.6	47.2
(A) - (D)	-9.2	-1.7	5.7	-4

全国平均との差異



5. 各学校における分析

- ・目標の「-2ポイント以内」については、国語B・算数Aで達成、国語A・算数Bにおいて達成できず
- ・国語Aでは、「漢字の読み書き」「登場人物の人物像を叙述から読み取る」等の課題がみられる
- ・算数Bでは、「論理的に考察し、説明できる力」に課題がみられる

6. 各学校における今後の取組

- ・1学期より、朝のチャレンジタイムにおいて「活用力」問題を計画的に実施する
- ・福岡県から配布された「フォローアップワークシート」を中心に、徹底して取り組ませる
- ・分析結果を基にした取組を強化する
- ・児童の主體的意欲を高める教育活動の創造・継続を図る

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◆ 嘉麻市学力向上推進プランに基づく学力向上検証改善委員会を開催し、有機的に機能させる。そのために、以下の事項について支援する。
 - ・校内学力向上推進委員会への指導助言を行う。
 - ・取組状況の確認及び適時性のある指導を継続する。
- ◆ 嘉麻市学力向上推進プランに設定した「書く活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、以下の事項について支援する。
 - ・校内研修における授業参観指導を実施する。
 - ・効果のあった授業モデルを提示する。
 - ・ユニバーサルデザインの考え方に基づく実践等の情報提供を行う。
- ◆ 嘉麻市学力向上プランに設定した「学力補充」を推進する。そのために、以下の事項について支援する。
 - ・全職員による補充の時間を充実させるための教材の選定や指導方法について指導助言する。